

平成17年度岩手県工業技術研究推進会議  
議事録

(実施日)

平成17年10月20日(木)

総 評

A委員

相対的にはうまいプレゼンで理解しやすく良い発表だったが、逆に説明が浅い印象もあった。

数値目標を明確にすることが大切だが、定性的ではなく定量的な目標、具体的な数値目標を設定して欲しい。

部門間を横断・連携した研究が少ない。新たな発想を生むためにも、もう少し部門間の連携を推進してはどうか？

また、地域の中小企業だから工業技術センターにお任せというのではなく、工業技術センターの開発の中に地域はどう関わっていくのが大切。

工業系はニーズ指向なのでそのへんがわかりやすいが、食品系は研究テーマに企業ニーズが見えにくい。

B委員

研究成果・知財をできるだけ早く実用化・商品化してほしい。

知財をうまく移転できる仕組みを作って欲しい。

早く商品化するには、スケジュールに沿って進めることが重要。

全体的に予算が少ない感じた。

C委員

研究への取り組み方、評価の仕方等、自社の経営に役立てていきたい。

D委員

研究発表は内容が整理されて分かり易くて良かった。

工業技術センターの役割は県の持っている資源を最大限に生かす研究がいいと思うし、概ねそういう方向でいっていると思う。

研究の評価の位置付けは経済効果だけでなく、この研究は何のためにどのようにして活性化を図るのかを具体的に説明し図るのが推進会議だと思う。

県民・本庁にこの研究はどのような意味があるのかどのように活性化していくのかを意識して説明して欲しい。

お米をエネルギー穀物としてとらえ、エタノール化の検討をして頂きたい。

E委員

研究の成果に経済効果を示しているが、研究テーマによっては算出根拠が不明瞭である。

事業内容の理解を助けるための成果予測、経済効果の算出を心がけて欲しい。

「チップボイラーの開発」について言えば、直接的な効果だけでなく林業など他産業とのつながりを示すなど、県全体(各部連携入出口の関係)としてどう考えているか、次へのイメージがわくようなものを示して欲しい。

F委員

研究体制が少ない中で成果を出していると思う。

(当センターのような機関は)依頼試験や技術相談・技術指導などのサービスが不可欠であり、(研究との)マンパワーがどうなるのか、特に独法化後の体制について考える必要があるのではないかと。

産総研では人材育成を兼ねて大学からポスドクを受け入れる制度を考えているが、(当センターでも)地域の中小企業との共同研究に大学から学生を受け入れて、終了後は企業に送り込むというようなシステムで、マンパワーを確保してはどうか。

<p><b>G委員</b></p>	<p>企業支援をしながらの研究は(研究員に)負荷が大きい。</p> <p>(人を増やす)お金が入るのであれば良いが、県内企業相手ではそれは期待できないので、(1テーマ当たりの)マンパワーを増やすために研究テーマを減らしてはどうか。</p> <p>以前から言っているが、センター内での(部間)連携研究をしてはどうか。</p> <p>いろいろな分野があるので企画(設計)から開発(製造)までセンター内で一貫してできると思う。是非その具体的事例(製品)を見せて欲しい。</p> <p>当工場は工業技術センターがあって立ち上がったので長いつき合いをしたい。</p>
<p><b>H委員</b></p>	<p>費用対効果、成果の活用、知財の確保の3つの観点から見て、今回の発表は良く出来ている。</p> <p>今後食品の研究を進めて行くためには、食育基本法や食品安全基本法が重要である。食育基本法ではそれに基づき食育推進計画が策定されることになっており、この流れを活用すべきである。</p> <p>食農連携は重要であり、農業生産が食品産業に取り込まれることにより、10倍の産業に膨れあがる。岩手県で同様な関係がみられないとすれば、そのギャップを埋めていくのは行政の責任である。</p> <p>文系と理系の融合を図ることも大切であり、特にマーケティングと技術の連携は重要である。</p> <p>研究成果を研究員自身が普及していくには限界がある。研究と行政の連携により行政が普及推進の主導をつとめていく必要がある。</p>
<p><b>I委員</b></p>	<p>背景、目標の説明がわかりやすく、他分野についても興味深く聞け、参考になった。</p> <p>木質ボイラーはバイオマスエネルギーであり、化石燃料での環境問題、資源の有効利用の点からも我が社でも使ってみたい。</p> <p>生分解性プラスチックの微生物データベースは、現在考えられている目的以外にも使える分野があるのではないかと。</p> <p>酒造や小麦利用などの研究は中小企業ではなかなか対応できないので、工業技術センターの研究成果に期待している。</p>